

海外短期プログラム参加者 報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分に掲載しません)
留学先大学名	同済大学 (国名: 中国)	
参加プログラム名	Tonji summer program	
プログラム期間	2019 年 8 月 ~ 2019 年 8 月	
学部/学府・年次	芸術工学部工業設計学科	1 年次
参加に要した費用	協定に基づく授業料免除の有無 → 有り	
	「有」の場合、免除額を記入してください 不明(プログラム参加費は無料)	
	航空運賃はいくらかかりましたか? (約 3 万円)	
	その他相手先大学に納入した費用を具体的に記入してください(例:教材費、宿舎費、オプションの見学旅行など) プログラム内の教材費や移動費、食費はほとんど無料だった。 地下鉄での移動でお金を使うことがあったが少額だった。	
このプログラムを選んだ理由	費用が安く、アジアトップの経済大国の中心都市である上海で持続可能な都市や地方の発展について学べるから。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()月から) ②. 大学院進学 3. その他(具体的に:)	
1. 参加プログラムと大学について		
プログラム(カリキュラム等)の概要について	上海を例にあげた先進的な都市の持続可能性や地方の発展について学ぶプログラムだった。そのほか、中国語を学ぶ授業や周辺都市(蘇州など)に行って庭園や博物館、伝統的な街並みを見学する機会もあり、とても盛りだくさんな内容だった。また、同済大学がテクノロジーに長けた大学であることもあり、大学内の自動車開発の研究棟や地震に関する実験場への見学や、上海自動車博物館への訪問もあった。見学や授業だけでなく、大学内でゴルフやボートを体験するレジャーもあり、仲間たちとの交流を深めながら楽しむことができた。最終日は参加者一人一人がこのプログラムに関するテーマを設定して一人 5 分ほどのスピーチを行った。	

<p>主催大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>サポート体制は十二分に万全だった。10日間のプログラムには、常に行動を共にするガイドの方と大学の先生がおり、困ったことがあればすぐに聞くことができた。 また、宿泊したホテルや大学のゲストハウスも全て二人部屋で、とても快適な環境だった。 食事面では、大学の食堂が無料で利用できるチケットが使いきれないほど配られ、見学先の周辺にあったレストランでの食事も全て無料だった上にとっても美味しかった。 食費が必要になったのは、自由時間に自分好みのおやつを買った時と、数回あった夜遊びでのお代だけだった。 大学のプログラムは予定がぎっしり詰まっており毎日バタバタしていたが、自由時間も適所に取られており、苦になるような忙しさではなかった。</p>
<p>プログラムおよび大学に対する感想</p>	<p>上にも述べたが、大学側の十分すぎるサポートや、プログラム内容の充実度、仲間たちとの交流が印象に残っており、とても充実したプログラムになったと思う。 プログラムに対する不満な点は特にない。 また、共にプログラムに参加した生徒は、中国人約10人、日本人、タイ人、マレーシア人、韓国人、ベトナム人、シンガポール人、ネパール人などが合わせて30人ほどいた。それぞれの参加者がとても高い英語力を持っており、様々な分野で学んでいた。それらの人々との交流は自分にとって良い刺激となり、これからのモチベーションに繋がった。</p>
<p>同じプログラムを希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>このプログラムは、社会問題や中国語を学ぶ授業や学外の施設への見学、参加者との交流や自由時間がバランスよく配分されており、10日間程度の留学プログラムとしてはとてもよくできた内容だと思います。 また、参加者の言語能力が高く、圧倒されますが、日本語を喋れる中国人学生や大学の先生もおり、そこまで心配する必要はないと思います。ですが、最も大事ななのは、自分から進んで英語で話しかけに行く姿勢だと思いました。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請などが必要であった場合)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>10日間の留学ですので、その前後で長期的に中国に滞在する予定のない人は申請する必要はありません。</p>
<p>ビザ申請先</p>	
<p>必要書類、手続き方法</p>	
<p>手続きに要した時間</p>	
<p>その他必要な事前手続きがあれば記入してください</p>	
<p>3. 日常生活</p>	
<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>中国の生活は、上海という大都市だったこともあり、全般として快適だった。 不便なことは特になかったです。ただ、観光地に行くと商売人が話しかけてくるのが多々あったので、毅然とした態度で対応をする能力が必要になると思います。</p>

生活費(全期間)及びおおよその内訳	お土産代やおやつ代などの贅沢品の購入や自由時間での遊びがなければ、10日間で二千円も使わなかった。
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	パワーポイントを使用して自分のスピーチ内容を作ることがあったのでパソコンは必要だと思います。その他は特に特別なものは必要ありませんでした。
日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	治安は良いです。街中に警察がたくさんいるので。ただ、観光地で人混みの中に行く機会がある場合はものが取られないように注意を払う必要があると思います。これは海外に行く場合はどこでもそうだと思いますが。日常生活も、上海のような大都市では特に不自由することはありません。
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	お金は多めに現金で持って行きました。4万円くらい。
4. 宿舎、生活環境	
宿舎の種類(○印をつける)	・大学の寮 ・ホテル・その他()
立地	2日ごとくらいに変わっていました。街中のホテルもあれば田舎の量もありました
伝えたい地域情報、生活情報	日本人であることによる差別のようなものは皆無で、フレンドリーな人が多い印象です。飲食店での食事代や雑貨などは全体的にとっても安く、お金を浪費することはあまりないです。しかし、観光地のお土産屋さんなどに行くと、かなり高い値段で売られていることがあるので、日本の物価を基準にせず、冷静に購入するか検討しましょう。
5. その他の特記事項	